

汗青会公開セミナー

入場無料

名城大学とノーベル賞

—カーボンナノチューブを主として—

名城大学名誉教授・工学博士 安藤義則

なぜ名城大学からノーベル賞受賞者が続いたのか。
今後、名城大発の新素材カーボンナノチューブの
研究も受賞候補となる可能性が高い。

その最前線におられた安藤博士に新素材の紹介と
ともに名城大学での研究の実情をお聞きします。



名城大学ホームページより転載

日本書紀から読み解く 西美濃の古代史



第6回汗青会公開セミナーより

京都産業大学名誉教授・法学博士 所 功

今年は日本書紀の撰上から1300年に当たる。
我国最古の正史は戦後どのように扱われてきたか。
記紀の神話から登場し、壬申の乱(672)の舞台と
もなった西美濃の歴史的な重要性を解明します。

期 日 令和2年3月28日(土) 午後1時~4時

場 所 スイトピアセンター学習館 6階
かがやき活動室6-2

主 催 汗 青 会 事務局 橋本秀雄 0584-91-2478

☆どなたでも(よろしければご家族ご知友も)自由にお出かけ願います。

☆新型コロナウイルスの感染状況を見て20日に延期・中止の判断をし、Hp「かんせい汗青プラザ」
に掲載します。スマホ・パソコンでご確認ください。 URL→<http://tokoroisao.jp/>